

中米 6 か国の行政官が地域統合に向けて日本の物流を学ぶ

関西の港湾施設や関西国際空港、阪神高速道路を視察、 日本企業とネットワーキング

2 月 17 日から 3 月 12 日に、中米 6 か国（コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ）から 13 名の都市開発や税関行政に携わる行政官が来日し、国際協力機構関西センター（JICA 関西）が実施する「中米経済統合のための物流ロジスティックス能力強化」の研修に参加します。6 か国は、中米地域の経済統合を目指す中米経済統合一般条約常設事務局（SIECA）に加盟する国々です。

この機会に合わせて、JICA 主催、外務省・経済産業省・国土交通省の共催で、「中米物流・ロジスティックス民間投資セミナー・ビジネス交流会」を 3 月 9 日（月）に東京の JICA 本部で開催します。セミナーでは、日本のインフラ関連技術を中米 6 か国からの参加者に紹介し、日本企業とのネットワーキングを行います。

中米地域では、物流コストの高さ、国境税関行政の非効率性、老朽化した物流インフラ等が各国間の貿易・経済の妨げになっており、域内関税撤廃の統一化など、物流改善に向けた様々な取り組みが実施されています。しかし、組織体制強化と人材育成が依然として課題となっていることから、JICA は SIECA 加盟国に対して、物流ロジスティックス開発マスタープラン策定支援などの包括的な協力を展開しています。

今回の研修では、物流分野における国土交通省の政策を紹介すると共に、関西の港湾施設や関西国際空港、阪神高速道路を視察し、日本の輸送手段の多様化、官民連携等について学びます。参加者は学びを活かして、SIECA 加盟国内の貿易円滑化・経済活性化のための方策を検討します。

以下の日程にて、セミナー・ビジネス交流会、関東、関西の物流インフラの現場視察や関係者との意見交換を行いますので、ぜひ取材をご検討ください。（インタビューの際はスペイン語の通訳がつきます）

【日程・内容・場所（抜粋）】

■2/26(木)

14:00～17:00 「阪神高速道路：講義「都市高速道路の整備・運営、交通安全、ケニア国の車両重量規制体制づくり」、視察「交通管制室」阪神高速道路株式会社（大阪市港区）

■2/27(金)

9:30～12:15 「KICT 神戸国際コンテナターミナル視察」阪神国際港湾株式会社
（神戸国際コンテナターミナル：兵庫県神戸市中央区）

■3/5(木)

9:00～12:00 「関西国際空港：民間資金を活用した空港運営・航空貨物の輸出・空港維持管理について」 関西エアポート株式会社（大阪府泉佐野市）

■3/6(金)

9:30～11:30 「公共トラックターミナルの視察」 京浜トラックターミナル（東京都大田区）

14:00～16:30 「NEXCO 総合技術センター視察(技術研修・高速道路管理)・管制室」
東日本高速道路株式会社 NEXCO 総合技術センター（埼玉県さいたま市）

■3/9(月)

13:00～ 17:00 「中米物流・ロジスティックス民間投資セミナー」

主催：JICA、共催：外務省・経済産業省・国土交通省（JICA 本部：東京都千代田区二番町）

17:00～19:30 「ビジネス交流会」（JICA 本部：東京都千代田区二番町）

※取材のご希望内容により取材日程と内容を調整させていただきます。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 研修業務課
TEL:078-261-0383